



五月二十二日東京驛にて左から原口忠次郎、吉村富之助、笈斌治、本莊秀一、中島時雄の諸氏。(本誌特寫)

友邦滿洲國の國道局へ 赴任した我技術家

滿洲國の道路及治水事業は建國最初の産業政策に先づべき重要な事業であるが、之が技術的指導者として、今回滿鐵副總裁八田嘉明氏及同理事たりし藤根壽吉氏等の斡旋により我が内務省當局方面と交渉の結果、それぞれ適任者を得て滿洲國へ推薦する事となり次の如き技術家の配置を見るに至つた

先づ滿洲國政府直屬の國道局を設け、局長として元滿鐵工事部長藤根壽吉氏就任、國道局の下に第一、第二技術處を置き第一技術處は道路建設の中央機關として處長には朝鮮總督府京城土木出張所長本間徳雄氏の就任を見た。第一技術處の實行機關

として新京建設處と奉天建設處及びチ、ハル建設處の三出張所を設け、新京處長には内務省東京土木出張所技師原口忠次郎氏が滿洲國勅任技師として就任、其下に課長として東京土木出張所の技師中島時雄氏が就任した。奉天建設處長には關東廳土木課技師中村貞輔氏チノハル處長にはわが工兵中佐鈴木兵一郎氏夫夫が就任、その工事課長としては東京土木出張所の吉村富之助氏が就任した。

第二技術處は治水と水利の調査を主とし、

東京驛ホームの見送り、×印原口氏、後向きが笈氏(本誌特寫)

